



賃貸物件を快適にご利用いただくための
アップル
新生活サポートガイド

新生活に役立つ情報を掲載しました。ぜひ、ご一読ください。



入居ご契約の流れ

引越しの心がまえ10ヶ条

引越しのチェック項目

入居時のチェック項目

入居後のチェック項目

故障かな?と思う前に

ゴミ出しのマナー

ダイヤル便利メモ

便利なアイテムのご紹介

ライフサポート特集



入居ご契約の流れ

株式会社アップルグループでお部屋探しをしていただき、誠にありがとうございます。
まずは始めに入居の際の「ご契約の流れ」をお読みください。



1 入居審査申込み

お部屋(物件)を見て、気に入った物件がありましたら、賃貸借契約の前に、申込み手続きを行います。申込みは、「入居申込み」または「入居審査申込み」ともいわれます。

(株)アップルグループが展開するアパマンショップ各店舗にて、入居申込書をご記入いただけます。申込書や提出書類は物件によって異なりますが、担当スタッフから説明がありますのでご安心ください。身分証明書と申込金(一般的には家賃の1ヶ月分)のご用意をお願いいたします。また、連帯保証人をたてる場合は、事前に依頼する方へ承諾を得ておいてください。



2 費用、書類を用意する

お部屋が決まったら、賃貸契約を結ぶためのお金や書類などを用意しましょう。

■事前に準備するもの

- ・住民票(物件により異なります)
- ・収入を証明する書類(物件により異なります)
- ・連帯保証人(保証会社の指定がある場合は緊急連絡先になります)
※物件によっては保証会社と併用でお願いすることもあります。
- ・連帯保証人の印鑑証明(※同上)

■契約日、当日持参するもの

- ・左記の用意した書類
- ・本人の印鑑・銀行印、口座番号の分るもの(毎月々の家賃が口座振替の場合、必要になることが多いです)
- ・必要費用(事前に振込することが多いです)
- ・連帯保証人があらかじめ署名、押印した書類

■契約時の必要費用の目安(首都圏の場合)

- ・敷金: 賃料の0~3ヶ月分が一般的
- ・礼金: 賃料の0~2ヶ月分が一般的
- ・手数料: 家賃の1ヶ月分が上限(+消費税)
- ・各種保険等
- ・保証会社に加入の場合、保証料
- ・前家賃: 入居可能日から月末までの日割家賃と次の月の家賃

3 賃貸借契約をする

入居審査を通過したら契約書に署名・捺印をし、入居費用の支払いを行います。契約内容、家賃の支払日、暮らし方のルールや禁止事項等はしっかりチェックしましょう。



重要事項説明書の読み合わせ

賃貸借契約の結ぶ前には必ず、(株)アップルの宅地建物取引士(または、共同仲介の不動産会社)から、重要事項説明書の読み合わせがあります。法律用語も多いのでわかりやすく噛み砕いてご説明いたしますが、それでもわからないところなどは、しっかり確認して、不明な点はお気軽にご質問ください。

4 契約が終了したら、引越しの準備を開始しましょう!

鍵を受け取り、いよいよ新生活のスタートです。引越し業者に依頼する場合は、事前に店舗スタッフへご相談ください!お得なプランもご案内いたします。また、電気やガス、水道、インターネットなどの手続きも事前に済ませておきましょう。



この「新生活サポートガイド」は新しく入居される方に、明るく快適な毎日をお過ごしいただくため、新生活において参考となる点、ご注意いただきたい点などをまとめたものです。

皆様でご一読いただき、今後の日常生活のお役に立ててくださいますようお願い申し上げます。

CONTENTS

- 入居ご契約の流れ 02
- 引越しの心がまえ・10ヶ条 03
- 引越しのチェック項目 04
- 引越し・入居時のチェック項目 05
- 入居後のチェック項目 06
- 故障かな?と思う前に 07
- ゴミ出しのマナー 09
- 便利なアイテムのご紹介 11
- アップルライフサポート特集 16

引越しの心がまえ・10ヶ条

➡ P22の引越し業者紹介ページへ

- 1 引越し日は混雑をさけて・・・。**
引越して混み合うのは土曜、日曜、祭日です。ゆとりをもって引越すためには平日を選びましょう。
- 2 業者選びは慎重に。**
引越は業者選びがポイントです。安全に確実にスピーディに引越すためにも、信頼できる業者を選びましょう。
- 3 業者とはしっかり打ち合わせを。**
業者とのトラブル防止のためにも作業確認はきちんと行ないましょう。自分ですること、任せることなどを明確にしておくことが大切です。
- 4 貴重品は自分で管理。**
引越はバタバタと注意不足になりがちです。とくに当日、貴重品など大切なものは人任せにせず自分でしっかりと管理しましょう。
- 5 チェックリストの作成を。**
引越し前後は諸手続きで混雑も。手際よく行なうために約1カ月前からリストを作成し、手続きモレなどを防ぎましょう。
- 6 荷物は当日までにきちんと。**
荷物は計画を立てながらきちんとまとめておきましょう。引越し当日は運び出すだけという状態がスムーズです。
- 7 当日の生活は臨機応変に。**
歯ブラシや下着、着替えなど、さしあたって生活に必要なものは一つの段ボールにまとめましょう。
- 8 立つ鳥あとを濁さずに。**
荷物を運び出したあとの部屋はきちんと掃除しましょう。ゴミや汚れを取り除いてお返するのが礼儀です。
- 9 不用品はリサイクルへ。**
まだ使えそうなもの、お金のかかる粗大ゴミなどは再利用の方法を考えましょう。環境保護のためにもゴミはできるだけ最小限に。
- 10 ご挨拶を忘れずに。**
お世話になった方、これからお世話になる方へのご挨拶は忘れずに。ご近所のおつきあいは大切です。

引越しのチェック項目

引越し1ヶ月前

□引越し業者の手配

転勤、新入学などで2月末～3月がピーク。早めに予約を。
※22ページの広告をご覧ください。

□現在お住まいの住居の解約連絡

現在お住まいの住居(賃貸の場合)の解約手続きをしましょう。
※契約書などに記載されている規定の予告期間内に手続きをしてください。

□学校などの転校手続き

公立小・中学校は、在籍校から教科書給与証明書と在学証明書を発行してもらい、住民票の手続きの際に渡される学校指定通知書と一緒に転入する学校へ提出します。なお、転入する学校へはあらかじめ電話を入れておく手続きがスムーズです。その他の学校は扱いが異なりますので、私立中学高校は私立中学高等学校協会へ、公立高校は各都道府県教育委員会へ問い合わせてください。

□不用品、粗大ゴミなどの手配

市役所または区役所の清掃担当部署に連絡してください。引き取りまでには時間がかかる場合もありますので早めに手配を。



引越し3週間前

□転居の挨拶状を準備

印刷などの都合により、2週間程度かかるので余裕を見て準備しましょう。

□電話の移転

「116」に電話をし、引越しの旨を知らせ、取り外し、取り付けの手配を行ないましょう。

□荷物リストの作成

部屋ごとや荷造り順に荷物リストを作成しておくとう便利です。

□荷造りの準備

段ボールやテープなど必要なものを揃えましょう。

引越し2週間前

□荷造り開始

普段使わないものから徐々に荷造りを始めましょう。



□郵便物の転送

現在、管轄の郵便局に転居届を提出すると、郵便物を1年間転送してもらえます。

引越し1週間前

□役所での手続き

●転出届

国民健康保険証、印鑑登録カードを持参し、転出証明書を発行してもらいます。

●印鑑登録

転出届を出し、印鑑登録カードを返却すると自動的に消去されます。

●国民健康保険

保険証、印章を持参し、転出届を出し保険証を返却します。

●国民年金

転入先で手続きを行ないます。

●福祉関係

印章を持参し、児童手当などの資格喪失届を提出します。(同市区町村への引越し時は不要)

●原付バイク

ナンバー、車両番号交付証明書、印章を持参し、廃車届を提出します。(同市区町村への引っ越しは不要)



□電気・ガス・水道の手続き

引越しの3～4日前までに現住所と転出先の受け持ち営業所に連絡しましょう。

□公共料金などの振り替え手続き

引越し先で手続きします。

□銀行・郵便貯金などの住所変更

転出先に現在使用している金融機関の支店がある場合は、引越し後に手続きします。その他は口座を新規に開設し各種振り替えが変更された時点で旧口座を解約します。

□保険・クレジット会社などの住所変更

それぞれの会社に電話し住所変更を行ないます。

引越し前日

□冷蔵庫の霜取り・水抜き

中のものを全部出してから霜を取り、受け皿にたまった水を捨ててください。

□洗濯機の水抜き

傾けて中の水を取り除いておきます。

□ご近所への挨拶

お世話になった挨拶に加え、業者や車両の出入りがあることをお知らせしておきましょう。



引越し・入居時のチェック項目

引越し当日

【転出の時】

□電気・ガス・水道の閉栓

各業者の作業に立ち会い、料金精算などを行ないます。

【転入の時】

□荷物搬入の立ち会い

家具や荷物が破損などないか、トラックの荷台に荷物が残っていないか確認しましょう。また共有部分は、保護をして傷つけないよう注意しましょう。



□引越し料金の精算

引越しが終了したら請求書を確認後、料金を支払います。

□入居前の状況を確認しておこう

入居前に室内の点検を行いましょう。この点検は退去時の損壊・損傷状況を確認する基になります。

□ご近所への挨拶

これから長いおつきあいになる人へ挨拶を忘れずに。

□電気・ガス・水道の開栓

各業者の作業に立ち会い、開栓を行ないます。

□入居したら

防火設備(消火器、非常ベル、非常階段)の位置を確認しておきましょう。



□ゴミの処分

引越しの梱包材料、粗大ゴミなどは、引越し業者に持ち帰らせるか、地域の指定する処理日に各自の責任で、きちんと処分してください。

□鍵の保管の注意

鍵は入居者の生命、財産を保護し、プライバシーを守ってくれる大切なものです。※鍵を紛失すると、取替え費用を負担することになります。またキーホルダーに室番号や氏名など書いておきますと危険です。



入居される時に

引越しの前後には、電気・ガス・電話などの点検をしっかりと行ないましょう。ガス器具など本人の立ち会いがないと使用できないものもあります。また、料金の届け出も必ず、確認しておきましょう。

※名義変更などを行なわないでそのまま使用すると前住者の料金が加算されることがありますので十分に注意してください。

①電気 ← P10のダイヤル便利メモへ

分電盤(ブレーカー)のスイッチをONにしてください。通常は入居したその日から使用できますが、電力会社が外線を取り外している場合がありますので、入居前に確認してください。

●電気温水器は深夜電力利用のため使用前にブレーカーと電気温水器本体のスイッチを入れて下さい。前日までにこの作業をしていないとお湯が使えません。



②ガス ← P10のダイヤル便利メモへ

ガスの開栓には必ず本人の立ち会いが必要です。入居前にガス会社の係員と日時を確認の上、在宅しててください。その際、ガス器具などの正しい使い方なども説明してもらいましょう。

※当日の開栓依頼は受け付けてもらえません。その日のうちに使うようであれば前もって連絡をしましょう。

●給湯器や水洗タンク等を冬場に長期使用しない時は必ず、機器内のたまった水を抜き凍結を予防しましょう。また、水抜きの方法は給湯器により異なりますので、取扱説明書をご覧ください。寒冷地域では、特別にルールが定められている場合がありますので確認しましょう。

③水道 ← P10のダイヤル便利メモへ

最寄りの水道局に連絡をし、開栓手続きを行なってください。

●水道の元栓は、建物の周辺や1階通路、玄関ドア横のメーターボックス内にある場合があります。水栓番号または部屋番号を確認して開栓してください。



④電話

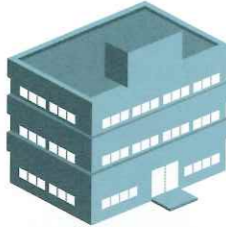
転居時に「移転手続き」を行なっている場合にはすぐに使用できます。まだ行っていない場合は、最寄りのNTT等へ連絡をし、手続きを済ませてください。

入居後のチェック項目

入居後 新居で

□役所での手続き

- 転入届**
4日以内に転出証明書を持参し手続きを済ませます。
- 印鑑登録**
実印を持参し新規登録を行ないます。運転免許などの身分証明書があれば即日印鑑登録カードが発行されます。なければ後日郵送された用紙を持っていくとはじめてカードが発行されます。
- 国民健康保険**
転入手続と一緒に行ないます。
- 国民年金**
14日以内に年金手帳、印章を持参して行ないます。
- 福祉関係**
印章を持参し、児童手当などの申請書を提出します。
(同市区町村への引っ越し時は不要)
- 原付バイク**
廃車届け控え、住民票、印章、車体ナンバーの写しを持参し、手続きを行ないます。



□転居の挨拶状を投函

家族や親戚はもちろん、お世話になった方々や、親しい人に転居した旨を伝えましょう。
※郵便局の「e 転居はがき作成」サイト
<http://welcometown-postcard.post.japanpost.jp>
で、簡単に郵便はがきが作れます。



□運転免許証の住所変更

最寄りの警察署に免許証と住民票を持参し手続きを行ないます。他都道府県に引っ越し場合は写真が1枚必要です。引っ越し後15日以内に。

入居中

家賃の支払い方法

家賃の支払いは契約書に記載どおりの方法で行なってください。

※家賃の支払いが遅れますと、遅延損害金が発生したり、契約が解除になる場合があります。



【防災について】 P23の防災・防犯商品紹介ページへ

①火災

就寝時、外出時の火元の確認をはじめ、たばこの消し忘れ、暖房器具のつけっぱなしなどに注意してください。

※たばこの消し忘れは常に火災原因の上位に入っています。寝たばこは特に注意してください。
※暖房器具を使用する際は寝具や衣類などから離しておくように。
※バルコニーなどは非常時の通路となりますので、モノを放置しないでください。

●消火器の使用方法



③ギュッと握り消火

②盗難

玄関ドアはもちろん、ベランダやトイレ、浴室の窓などの施錠チェックを忘れずに。(カギを紛失した場合は、ただちにアップル各店舗にご連絡ください。有料にて、シリンダ交換をいたします。) 窃盗のプロは窓の大小を問わず侵入してきます。長期にわたって留守にするときは、新聞の配達を止めるなどの気くばりをしてください。



③漏水

洗濯機、浴室などから水があふれると、階下に影響を及ぼし、たいへんな被害となってしまいます。水道栓の開閉、ホースの差し込み、配水管のつまりなどの管理はしっかりと行なってください。

※洗濯機の排水ホースは排水口にきちっと差し込んでください。
※キッチン、浴室などの排水口はこまめに掃除してください。
※油、ゴミ、生理用品などは絶対に流さないでください。
※ベランダでの植木の水やりにも注意してください。

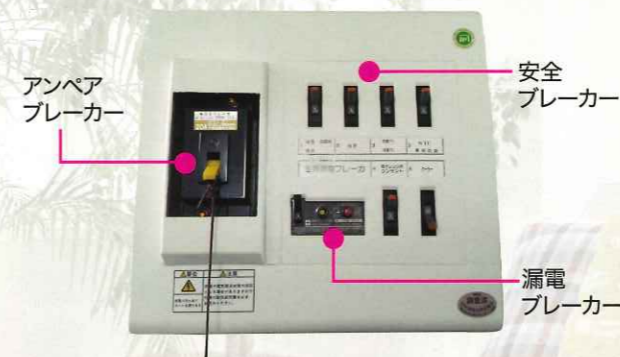
故障かな?…と思う前に。

■「困ったな」「おかしいぞ」のこんなとき、こんな場合。まず自分で調べて確認を。

ブレーカーがすぐ落ちる。

ブレーカーが落ちるのはいくつかの電気製品を同時使用した時などの電力容量オーバー、もしくは漏電によるものです。

- アンペアブレーカーが落ちる場合。
全体の電力を使い過ぎています。
- 漏電ブレーカーが落ちる場合。
回路が漏電している恐れがあります。
- 安全ブレーカーが落ちる場合。
落ちた回路の電力を使い過ぎています。
※契約電力容量を上げる場合や漏電ブレーカーが落ちる場合は最寄りの電力会社まで連絡してください。



テレビの映りが悪い。 P17のJ-com ページへ

- ①テレビ用端子がきちんと接続されていますか?
- ②近隣者も同じような状況ですか?
以上のことを確認して、取り扱い説明書も読んでみましょう。



インターホンが鳴らない。

電池式の場合は電池を取り替えてください。コンセント式の場合はコンセントの差し込みをチェックしてください。

玄関ドアの閉まりが悪い。

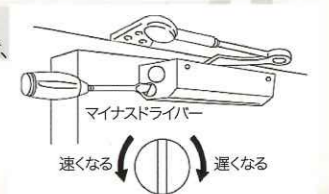
ドアクローザーや蝶番などをチェックしてみましょう。



●ガタつき・きしみの調整。
蝶番がゆるんでいるときは止めネジをしっかりと締めなおしてください。きしんだりするときはミシン油を少しさすと軽くなります。



●ドアが閉まる速度が速い or 遅い。
ドア内側の上部に取り付けられている金具(自閉装置)をドアクローザーといいます。ドアクローザーには閉まる速度を調節するためのネジがあり、ドライバーでこのネジを調節することで速度を変更することができます。(上写真参照)
旧型のドアクローザーには調節ネジが一つありますので、時計回りに45度まで回すと開閉が遅くなり、逆に回すと速く閉まります。(イラスト参照)



エアコンが効かない。

- ①コンセントは差し込まれていますか?
- ②室内機の操作部の電源は入っていますか?
- ③室内機、室外機の吸い込み口や吹き出し口はふさがれていませんか?
また、フィルターが汚れていませんか?
以上のことを確認して、取り扱い説明書も読んでみましょう。

故障かな?…と思う前に。

エアコンから室内に水漏れする。

エアコンを使わない時などに、ドレンホースに入った木の葉などのゴミのつまりが主な原因です。当店、もしくは販売店などに連絡をしてゴミを取り除きましょう。

蛇口から水が漏れる。

いろいろなタイプの蛇口がありますので、自宅の蛇口を確認して調整しましょう。

●参考になる web 情報

<http://www.gooday.co.jp/kurashipedia/?type=entry&id=143>

■グッデイ「暮らしペディア」自分でできる!水道蛇口の水漏れ修理をご参照ください。



また、作業開始時は水道元栓を自分の部屋のものか確認した上、完全に閉めます。(集合住宅の場合は玄関横のパイプスペース内にあります)

給湯器のお湯が出ない。

給湯器のコンセントが差し込んであるか、給湯器下のバルブは聞いているか確認してください。それでも出ない場合は当店か、最寄りのガス・電気会社まで連絡してください。

お風呂の水が流れにくい。

配水管のつまりが原因です。排水トラップ(排水口)の掃除をこまめに行なってください。

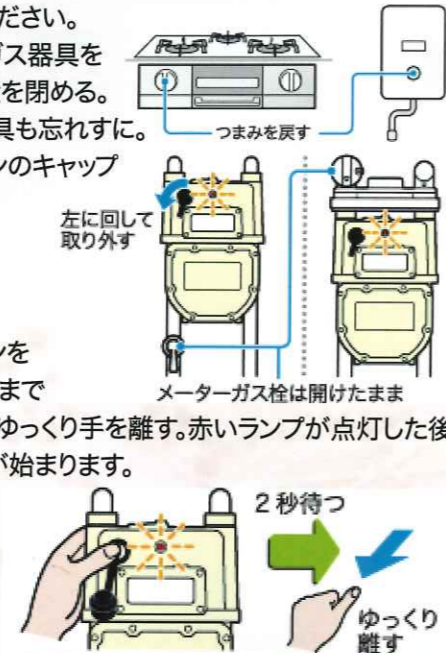
キッチンの換気が悪い。

換気扇の油汚れが原因です。月に1回必ず掃除をするよう心がけてください。

ガスが止まったら。

マイコンメーターの赤ランプが点滅していたら次の手順で操作してください。

- ①すべてのガス器具を止め、元栓を閉める。屋外の器具も忘れずに。
- ②復帰ボタンのキャップをはずす。
- ③復帰ボタンをしっかりと奥まで押し込み、ゆっくり手を離す。赤いランプが点灯した後、また点滅が始まります。



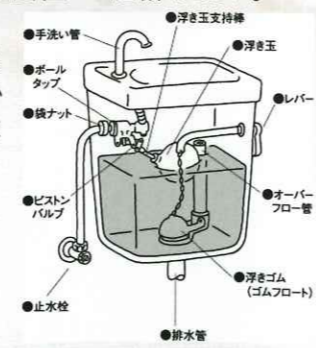
※ランプが点かないこともあります。

- ④ガスを使わないで3分待ちます。点滅が消えていたら、ガスが使えます。

トイレの水が止まらない。

ロータンクの放水レバーを動かしても止まらない場合は以下の原因が考えられます。それでも止まらない場合は当店か、最寄りの修理会社にご連絡ください。

- ロータンク内の浮きゴムを持ち上げるアームが引っかかったり、チェーンがからまったりしていないか?
- 浮き玉の止まる位置がオーバーフロー管より高い位置にないか? 浮き玉がどこかに引っかかっていないか?



トイレが詰まったら。

水を流さずにラバーカップで詰まりものを吸い上げてみる。

- 便器の排水口いっぱいラバーカップを押しつける。
- 勢いよく手前に引いたり、押しついたりを繰り返す。



ゴミ出しのマナー

住み良い環境を保つためにも、一人一人のゴミに対する正しいマナーが必要です。そこでゴミの収集日や分別など、ゴミに関する基礎知識やゴミをできるだけ出さない暮らし方などを紹介します。

曜日・場所・袋の種類を守る

ゴミを入れる半透明の袋などは各自治体により異なるので、引越し先ではご近所や管理人さんへ挨拶に行った時でも聞いておくといいでしょう。また、ゴミの収集日や場所についても詳しく教えてもらい、不燃ゴミ・可燃ゴミを出し忘れないことが必要です。敷地内にゴミ集積場がある場合も、ゴミ出しのルールを聞いて守りましょう。



ゴミ出しのパンフレットをもらう

ゴミ出しの分別法や出し方は各自治体によって異なります。区役所や市役所などのホームページで再度確認しましょう。

また、役所に行けばゴミ出しのルールを記したパンフレットを常備している場合が多いので、転入届の手続き時にもらっておきましょう。

ゴミは不燃と可燃を正しく分別

すっかり定着しているように見えるゴミの分別ですが、それが不燃ゴミか可燃ゴミか分からないという人も多いようです。不燃ゴミ、可燃ゴミ、粗大ゴミ、有害ゴミなどの区別をきちんと理解する事が、安全なゴミの処理やリサイクルにつながります。

●一般のゴミ収集に出せるもの
不燃ゴミ・・・ペットボトル、プラスチック、金属類、ゴム類、せとの、ガラス製品、革製品、乾電池(自治体によっては、乾電池のみの分別収集をしているところもあります。)など。

●一般のゴミに出せないもの
粗大ゴミ・・・自転車、家具、ふとん、スキー板、畳、電気製品など。
有害ゴミ・・・ガソリン、灯油、消化器、バッテリーなど。

家庭用パソコンについて

パソコンは、資源有効利用促進法によりメーカー等によりサイクルが義務付けられています。

そのため、自治体では回収することができません。回収の申し込みは、廃棄するパソコンのメーカーの受付窓口もしくは、「パソコン 3R 推進協会」へお問い合わせください。

●メーカー等がわかっているパソコンの場合
廃棄するパソコンのメーカー受付窓口へお申し込みください。

※メーカーの連絡先、料金など、詳しくは、「パソコン 3R 推進協会」へお問い合わせください。

●回収するメーカーがないパソコンの場合
自作機や撤退メーカーの場合は「パソコン 3R 推進協会」にお申し込みください。

※料金など、詳しくは「パソコン 3R 推進協会」へお問い合わせください。

家電のリサイクル

エアコン、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵・冷凍庫は、自治体では回収できません。

貴重な資源を有効に活用することでゴミの減量とリサイクルを推進し、循環型社会を形成していくために、平成13年4月に「家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)」が施行されました。これにより、これらは製造メーカーなどにリサイクルが義務付けられ、排出者もリサイクルのための費用を負担しなければならなくなりました。品目・製造メーカーなどによってリサイクル料金は異なり、収集・運搬を依頼した場合は別途料金がかかります。

※詳しいリサイクル料金などについては「一般財団法人家電製品協会 家電リサイクル券センター」のホームページをご覧ください。

